

不動産投資型クラウドファンディング 『X-Crowd』 第2号ファンド 本日1/30(木)より投資募集開始

<https://x-crowd.jp/>

中古マンション再生流通事業を手がける株式会社インテリックス(東京都渋谷区 代表取締役社長 山本卓也) は、不動産特定共同事業法に基づく不動産投資型クラウドファンディングサービス『X-Crowd』上で本日2020年1月30日(木)に『ファンド2号(すみ蛸おぼろ) Ⅰ』の募集申込の受付を開始いたします。

■ 2号ファンドについて



【商品名】ファンド2号(すみ蛸おぼろ) Ⅰ
【募集期間】2020年1月30日(木)～2月13日(木)
先着順、募集金額に達し次第終了
【予定利回り】4.0% (年率・税引前)
【運用期間】約18ヶ月
【募集金額】3,100万円
【募集単価】1口 10万円

■ 対象物件について

第2号ファンドの投資対象物件は「京町家」に当社が強みとするリノベーションを施しました。「京町家」の特徴的な佇まいを残しつつ、一棟貸切の宿泊施設として再生し、収益不動産化しました。本ファンドの対象物件は(公社)京都デザイン協会が主催する「京都デザイン賞2019」において京都市長賞を受賞しており、京町家の趣を残しながらデザイン性も兼ね備えた宿泊施設となっております。

京町家：すみ蛸おぼろ



▲リビングと和室



▲寝室



▲玄関に続く庭

■京町家について

「京町家」は世界有数の観光地である「京都」の景観を形成する伝統的木造家屋であり、大変貴重な財産です。平成28年に実施した京都市都市計画局の調査によると、平成28年度の調査と平成20・21年度の調査を比較した際、5,602軒の「京町家」が滅失したとあり、これは平成20・21年度調査時の総数の11.7%に相当します。このような背景から京都市は、平成29年に「京町家」の保全及び継承を目的とする条例を制定しました。

■X-Crowdについて

全国各地で空き家・空き店舗が増加する中、不動産再生ビジネスや地方創成につなげる取り組みが期待されています。平成29年12月1日、成長分野での良質な不動産ストックの形成を推進し、都市の競争力の向上を図る目的で、不動産特定共同事業法の一部が改正されました。このような背景をもとに、少額投資かつ安定運用で利回りを目指し、対面によらず郵送により簡単申し込みが可能な不動産ファンドサービス「X-Crowd」を開始いたしました。

「X-Crowd」は、当社が中古マンション再生流通事業で培った物件の目利き力を強みとしており、オルタナティブ投資の一手段としてご検討いただける商品性です。

京町家を対象にした第1・2号ファンドに続き、今後地方創生に繋がる不動産ファンドも計画しており、より豊かなストック社会の実現を目指してまいります。



▲トップページ <https://x-crowd.jp/>

株式会社インテリックス <https://www.intellex.co.jp/>

業界に先駆けて、中古マンション再生流通事業を展開。14年連続で1,000戸以上の販売を行い、2019年5月末現在、累計販売戸数21,000戸を達成。首都圏に加えて全国主要都市での事業展開を進めております。

リノベーションのみならず、住まいの買取（売却）、資産運用など不動産にまつわる様々なニーズにワンストップで対応するリノベーション総合カンパニーです。

【代 表 者】代表取締役社長 山本卓也

【本社所在地】東京都渋谷区渋谷2-12-19

【資 本 金】 22億5377万円

【設 立】 1995年7月

【事 業 所】 札幌店、仙台店、横浜店、名古屋店、大阪店、広島店、福岡店

【上場取引所】 東京証券取引所 市場第一部（証券コード8940）

【主な事業内容】 中古マンション再生流通事業、その他不動産事業